

JIA公式Instagramアカウント運用開始しました！

建築家PR動画推進WGは、「建築家の職能と業績について一般市民の認知度を上げる」ことを目的とし、「PR動画の作成と流布」を推進するためのWGとして、広報委員会内に設置されました。これからの社会を創っていく若い方々に建築と建築家のすばらしさ、社会性、有用性、存在意義をPRするために設置したものです。

本年1月24日の第1回から5月23日の第5回までWGを重ね、5月より画像中心のSNSとして圧倒的な影響力のある「Instagram」にJIA公式アカウントを開設しましたので、ご案内いたします。

日本建築家協会 [Japan Institute of Architects]
Instagramアカウント

<https://www.instagram.com/jia.japan/>



パソコンやスマートフォンのアプリ等からアクセスできますので、ぜひ学生や若い方々に拡散していただきますようお願いいたします。会員の皆様におかれましては、法人や個人のInstagramアカウントをお持ちの方がいらっしゃれば、ぜひ「フォロー」や、各投稿への「いいね！」をしていただき、広報活動へのご協力をいただけますと幸いです。

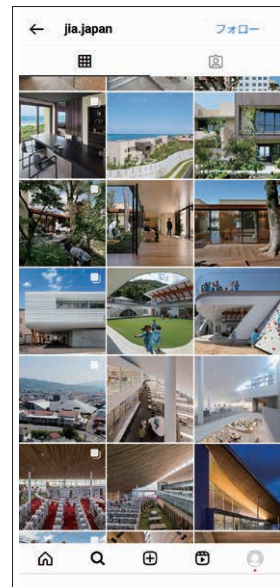
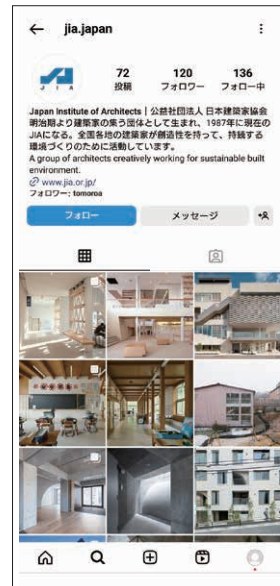
「建築家PR動画推進WG」は、「SNSを活用した建築家の活動PR」について多角的に議論する場となっています。InstagramやTikTok等に代表されるSNSは若い世代を中心に大きな影響力を有しています。一方で、議論を重ねるなかで、「動画」はひとつのメディアではあるが、静止画や文字、位置情報、コメント欄によるコミュニケーション等、総体としてのSNSの特徴をいかした活用方法を実践を通して検証していく方針です。

次年度以降の活用方法は引き続きWGで議論していきますが、今年度は現時点で活用できる素材として以下のコンテンツを予定しています。

『JIA建築年鑑2021-2022』の掲載作品の中からJIA会員が関わった作品に限り、SNS用に許諾を取り直し、順次、画像や作品データ、所在地情報等の投稿を進めています。一部、追加の画像データや動画の収集も行っています。掲載をJIA会員の作品に限っているのは、公益事業であるJIAの各建築賞や年鑑とは別に、公式SNSを「会員サービス」の一環として位置付けているためです。

なお、委員には、JIA外部からも映像メディアの専門家である、東京藝術大学大学院映像研究科助教の和田信太郎氏を招聘し、またJIA全体の広報戦略と連携するため、表彰委員会・優秀建築選TF主査や本部ウェブサイトの制作担当社にも適宜オブザーバー参加していただきながら議論してきました。またInstagramの保守運用についてはアート・デザイン分野でメディア・プロダクションの実践をしている株式会社thoasaに委託をしています。

また、上記の本部アカウント開設にともない、支部用アカウ



JIA Instagram ページ

ントについても本部のほうで確認のうえ、取得されていないものは本部にアカウントを仮押さえています(アカウントが先着順のため無関係の団体の取得を防ぐためです)。本部アカウントと支部アカウントとの連携の仕方などはまだ方針を決定したわけではありませんし、まだ指針のようなものもありません。九州支部や、近畿支部住宅部会のように既にInstagramを活用されている支部や部会もあります。

SNSは、ボトムアップで作りながら随時更新していくようなスピード感や柔軟性が特徴でもあり、はじめから本部で硬いルールをつくること等はあえてしていません。一方で、ロゴの使い方など、然るべきタイミングで統一したルールを作成したほうが団体としての一体感の醸成につながる可能性もあり、会員の皆様にも今後相談させていただければ幸いです。よろしくお願いたします。

会田友朗 (建築家PR動画推進WG 主査)

